

平成 20 年 12 月 6 日

各 位

(社) 日本粉体工業技術協会 ナノ粒子安全性検討委員会
委員長 川島 嘉明
共催：クリーン化、集塵、計装測定、微粒子ナノテクノロジー分科会
協賛：ナノテクノロジービジネス推進協議会、日本エアロゾル学会
粉体工学会

ナノ粒子の安全な取り扱いに向けて「ナノ粒子曝露防止技術」「管理技術」の基礎と実際
—シンポジウム開催のご案内—

(社) 日本粉体工業技術協会には、ナノ粒子の物性評価と新機能の創生を目的にした「微粒子ナノテクノロジー分科会」があります。近未来を見据えナノ粒子の特徴を活かした“ものづくり”を目指し、ナノ粒子を利用した起業に役立つ情報提供等もしております。一方、ナノ粒子の人体や環境への影響等の安全性や毒性、さらに曝露防止・管理に関する協会の取り組みは十分とは言えません。そこで、「ナノ粒子の安全性検討委員会」を2年前に設置し、報告書を昨年公表しました。本年度は、これまでの委員会活動を総括し、異なる視点での3回のシンポジウムを開催（公開）し、本委員会の将来の展望と役割を明らかにしたいと考えております。

過去二回のシンポジウムでは、第一回が総括的なリスク評価、管理、第二回がナノ粒子の安全性に関するレギュレーション、細胞との作用、経皮吸収などナノ粒子のハザードに重点を置いて講演を企画しました。今回のシンポジウムでは、ナノ粒子曝露防止、管理技術に焦点を当て、生成したナノ粒子が気相への分散・拡散挙動とその捕集法など環境中への拡散、曝露防止のための粉体・エアロゾル工学を基礎的に講演いただいた上で、現場でのナノ粒子の曝露防止技術の実状、技術開発動向を報告いただき、安全にナノ粒子を利用するための曝露防止、管理技術の課題と将来展望を議論したいと考えております。

奮ってのご参加をお待ちしております。

記

日 時：平成 21 年 2 月 6 日（金） 13:00～17:00
会 場：東京・虎ノ門パストラル 新館 6 階 ペーシュ
東京都港区虎ノ門 4-1-1 電話：03-3432-7261

定 員：90 名（先着順）

次 第：

13:00～ 開 式：ナノ粒子の安全性検討委員会委員長
愛知学院大学薬学部 教授 川島 嘉明 氏
13:05～14:05 (基礎編)「ナノ粒子の挙動と捕集の基礎科学」
金沢大学 教授 大谷吉生 氏
14:05～14:45 (現場からの報告)①「製薬プラントにおける薬塵の取り扱い」
(株) 日立プラントテクノロジー 福島幸生 氏
【休 憩】
15:00～15:40 (現場からの報告)②
「ナノ粒子曝露防止のための呼吸用保護具と環境改善設備の技術開発動向」
興研(株) 飯能研究所長 木村一志 氏
15:40～16:20 (現場からの報告)③「ナノ粒子のための局所排気装置開発動向」
(株) ダルトン 鶴山 竜太郎 氏
16:20～16:55 総合討議 ナノ粒子の曝露防止・管理法開発の技術課題
～17:00 閉 会：(社) 日本粉体工業技術協会 副会長 山田 幸良 氏

参 加 費：無 料 (但し資料代として当日会場で 3,000 円を申し受けます)

申込締切日：平成 21 年 1 月 23 日（金） ただし、定員になり次第、締切ります。

申し込み先：お名前、会社名、所属、連絡先（TEL、FAX、e-mail）を明記して、協会本部
事務局 鈴木優子まで FAX (075-352-8530) またはメール(y-suzuki@appie.or.jp)
にて、お申し込みください。